

願って止まない。

なお、本書の魅力をいささかも減ずるものではないが、最後に以下の2点を指摘しておきたい。第3章で、ジェットストリームの発見は第2次大戦中、アメリカのB-29爆撃機によるとする記述がある。欧米でも今のところ、そう信じられているが、実際にはこれよりはるか昔の1926年、高層気象台の大石和三郎が高層気象

台彙報にエスペラント語によってジェット気流の観測結果を報告している。また、濟州島のカルマン渦について、円筒を過ぎる流体実験との類推にもとづく議論が紹介されるが、最近では3次元地形を越える密度成層流の伴流における渦の生成の立場からの議論が多い。

新野 宏 (東京大学海洋研究所) : 投稿

第47回風に関するシンポジウム開催案内・講演募集要領

1. 共 催：日本海洋学会，日本風工学会，日本気象学会，日本建築学会，日本航空宇宙学会，日本地震学会，日本地理学会，日本農業気象学会，日本流体力学会，日本林学会，土木学会（幹事学会）
2. 日 時：平成13年3月16日（金）13：00～17：00
3. 場 所：東京大学工学部11号館講堂
地下鉄丸の内線「本郷三丁目」下車，徒歩10分
4. 開催要領
 - a. 一般講演 講演時間は20分程度の予定。
 - b. 特別講演
「微風の有効利用と防風・防砂」
愛媛大学 真木太一
「スポーツ空気力学」
福岡工業大学 溝田武人
 - c. 討議 “本シンポジウムの将来を探る”
風に関するシンポジウムは昨年で46回を数え、風をキーワードとする学際的な研究・交

流の場として重要な役割を果たしてきました。発表件数の減少が目立つ近年の状況を脱し、活性化の方向を探るため、本シンポジウムの今後のあり方や体制作りについて、意見交換の時間を企画しました。忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

5. 参加費：無料
6. 一般講演申込方法：題目，発表者名（連名の場合は講演者に○印を付ける），所属，代表者の連絡先（住所，Tel，Fax，E-mail），200字以内の要旨，OHP・スライド・VTRの使用希望を，E-mailまたはFaxでお送り下さい。
7. 申込期日：平成13年3月6日（火）
8. 申込先：〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻
白土博通
Tel：075-753-5092，Fax：075-761-0646
E-mail：shirato@brdgeng.gee.kyoto-u.ac.jp